



DEQX Pty Limited  
 ABN 39 078 435 060  
 Tel: +61 (0)2 9905 6277  
 Email: [support@deqx.com](mailto:support@deqx.com)

## Technical support advisory 051020a

### タイムアライメントだけを自動補正する方法（F特補正はしない）

スピーカーの周波数特性はそのまま、タイムアライメントを補正したデジタルクロスオーバーネットワークとしてPDCを使用することができます。このドキュメントはタイムアライメントの補正が可能な高性能デジタルクロスオーバーネットワークとしてPDCを使用する方法を提供します。

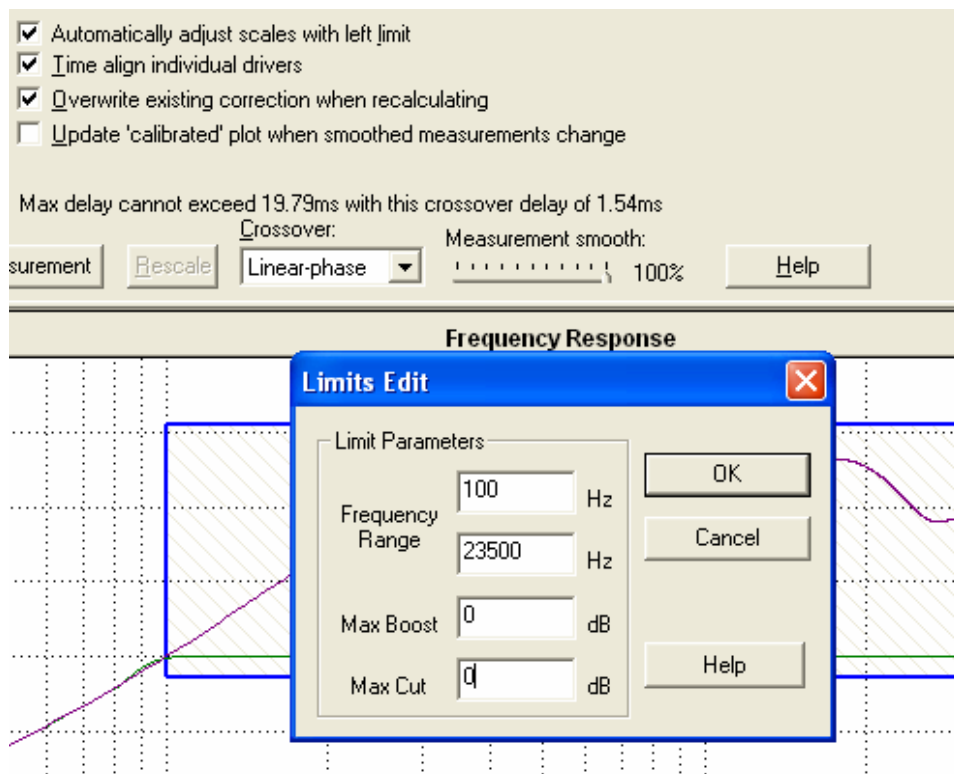
必要なもの:-

- Version 2.0 C • alibration software
- DEQX V2.0 Installers manual

設定方法:-

デジタルクロスオーバーネットワークとしてPDCを使用する場合、まず通常のスピーカーコレクションを行う手順と同様にPDCを設定します。つまり、スピーカーシステムを測定し、このデータからコレクションフィルターを生成する過程で周波数特性補正の項目を無効にすることでタイムアライメント補正のみを行います。

- 1) インストールマニュアルの指示に従ってスピーカーを測定します。
- 2) キャリブレーションウィザードに従って設定を行います。
- 3) 'Anechoic' のタブでおおよそ2~3msにカーソルを合わせて下さい。この値は周波数特性を補正するには短すぎますが、タイムアライメントのためには十分な値となります。
- 4) 'Crossovers' タブをクリックしてクロスオーバーネットワークを構成してください。
- 5) 'Limits' タブをクリックしてください。設定範囲を示す青い線をダブルクリックしてください。設定画面が現れますので 'Max Boost' and 'Max Cut' に「0」を入力しOKをクリックします。（下図参照）

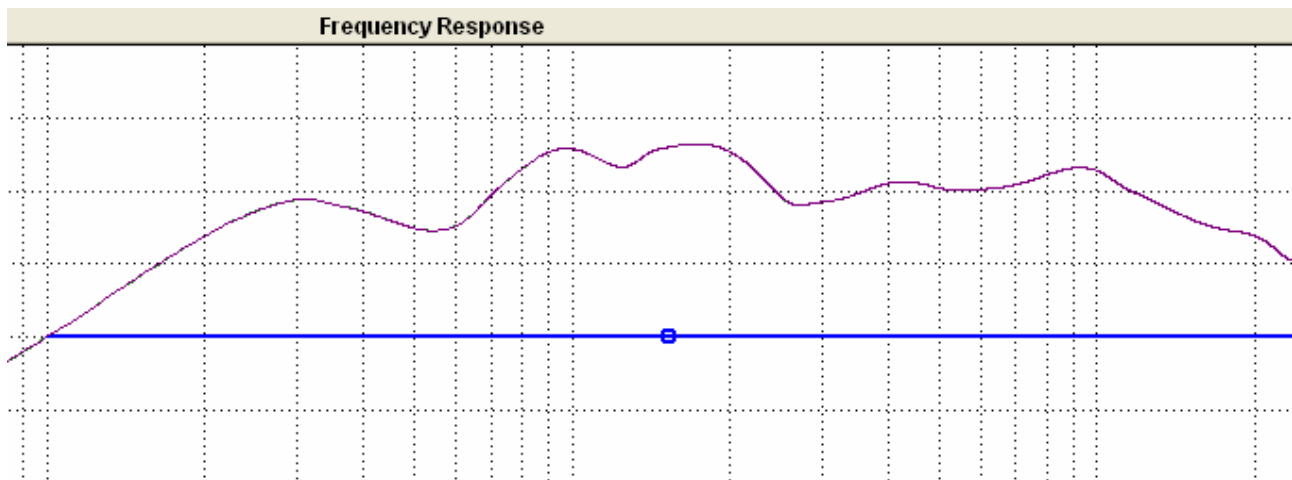


DEQX Pty Limited

1 Roger St Brookvale NSW 2100 Australia. Tel: +61 (0)2 9905 6277 Fax: +61 (0)2 9905 8066  
[www.DEQX.com](http://www.DEQX.com)

## Technical support advisory 051020a

- 6) ブースとカットを '0' に設定すると、設定範囲を示す青い線は直線になります。(下図)



- 7) オプションの 'Time align individual drivers(各ユニットのタイムアライメント)' にある 'Calculate new correction' をクリックしてください。修正フィルタが計算されてその応答を見ることができます。それはまさしくクロスオーバーネットワークのように見えます。グラフを右クリックして 'View' を選択すると 'Group delay' や 'Impulse response' などを見ることが出来ます。
- 8) 最終的にPDCをコンフィグレーションします。'bypass profile(バイパスプロフィール)' と新たに作成された修正フィルタ、そして他のプロフィールを設定し、PDCにアップロードしてデジタルクロスオーバーネットワークを構成します。
- 9) これらの設定を行うことでタイムアライメントをしていない場合のクロスオーバーネットワークと周波数特性の補正はしないでタイムアライメントをした場合の効果を比較することが出来ます。